

ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

今回は現在開催中の収蔵作品展「ひかりのかたち展」から、今年度新しく収蔵した作品をご紹介します。夏の展覧会に出展していただいた平田友美さんの新規収蔵作品は吹きガラスの「グラール」という技法を用いてつくっています。ウランガラスの球に銀箔をすき間なく貼り付け、その銀箔を削り取って模様や絵を描いていき、もう一度電気炉の中で温度を上げて竿の先にくっつけ、仕上げの成形をします。絵を描くときはガラスが冷めていないとできないので、一度の作業では作品は完成しません。二回、三回と分けての制作作業になり、手間もかなりかかります。

こうして出来上がった作品は、球体の中にひとつの物語が出来上がっています。

作品を見て頭の中で情景が浮かび上がったり、想像が膨らんだり、その人ごとに作品の楽しみ方が広がっていくことが平田さんの作品の一番の特徴だと思います。

ご覧になる際はゆっくり、じっくりと見て、作品世界の中に入り込んでみてください。

来月も新規収蔵作品のお話をさせていただきます。



平田さんはたくさんの収蔵作品を制作してくれました。



細かい切り絵のような絵柄をガラスの中に閉じ込めています。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

第3回 おかげ様で15周年!
ソーラン鏡野
感謝の舞台 無料
~司会~
三宅八重子
2019年11月10日(日)

開場10:00 開演10:30
会場:鏡野中学校講堂



協力:宮坂流社中・宮坂流希星会
協賛:鏡野町・鏡野町商工会

お問い合わせ

ソーラン鏡野事務局(鏡野町商工会) TEL:0868-54-3311

おかげ様で私達ソーラン鏡野が発足して今年で十五年目を迎える事ができました。
二〇〇五年、岡山国体の女子ハンドボール選手のお迎え行事として、鏡野ドームをソーラン鏡野一〇八名で埋め尽くし、華やかに踊りを披露させていただけた事は記憶に新しい事と思います。
その後、宮坂流家元にしっかりサポートを受け、私達ソーラン鏡野は今では鏡野町の六大会には必ずお声をかけていただける様になり、元気な鏡野町をアピールしてまいりました。今回十五周年にあたり、皆様に元気な私達の姿をぜひ見ていただきたいという思いで、「第三回ソーラン鏡野感謝の舞台」のご案内をさせていただきます。

どうぞお連れ様とご来観いただけると嬉しく存じます。

ソーラン鏡野一同